



黒部市社会福祉協議会が中心となって取り組む 3つの重点事業 [5カ年推進]

くろベネット

誰もが安心して暮らせる包括的な見守り支援体制の強化

「誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくり」の実現のために、ご近所や地域単位での普段の見守り支援を大切にしながら、黒部市全域で住民と企業や行政、専門職などが連携することで市民総参加の地域共生社会の実現に取り組んでいきます。

小地域福祉活動の強化

それぞれの地域特性に対応した地域福祉活動の推進

それぞれの小地域(16地区)の地域特性や実情にあった活動を発展または維持していくために一人ひとりが様々な「出番と役割」を持つ必要があります。各地域が「自分たちの地域を自分たちで良くしていく」住民主体の活動をつくるため、地域活動へ参加する機会を創出し、活動に関わる人が増えるよう取り組んでいきます。

ウェルビーイングの推進

地域幸福度調査等のデータを活用した事業展開

国、デジタル庁が採用している市民を対象とした地域幸福度調査を行い、その結果を基にみんなで話し合い、ウェルビーイング(しあわせ)なまちづくりを考えていくとともに、データを分析することで、取り組むべき課題を明確にし、効果的な事業を展開することによりウェルビーイングを推進していきます。

PDCAサイクルでビジョンを実現しよう

Action [改善]

評価に基づき改善プランを決める

4



Plan [計画]

黒部の福祉を良くする目標や計画を立てる

1

取り組みを集計し評価を検証する

Check [評価]

3

目標に向かって事業や取り組みを進める

Do [実行]

2

この詳細は、黒部市社会福祉協議会のホームページ(<http://www.kurobesw.com/>)「第4次黒部市地域福祉活動計画」からダウンロードできます。



黒部の福祉を良くする活動計画

Kurobe Social Welfare Action Plan

2024年度 — 2028年度



この活動計画は、「お互いさまの社会の実現」を目指し民間の福祉活動団体や活動者が、ここから5年間、何を目標(ゴール)にどんなこと(ターゲット)に力を入れて取り組んでいくかを示すものです。なお、本計画は「第4次黒部市地域福祉活動計画」をわかりやすくまとめたものです。

Vision

お互いさまの社会の実現に向けて

Mission

誰もが安心して暮らせるやさしい福祉のまちづくりの推進

地域福祉に関わる全ての団体や人々と共に目指す5の目標と15の取り組み

NEW

1 つながることから はじめよう

人と人がつながるためには、知る場、学ぶ場、話し合う場、そして当事者同士が支え合う場が必要です。声掛けから始まり、話し合い、相互理

解、情報を共有することから、新たな手立てが導き出され、それが行動促進につながります。地域のこれからを自分たちで考えるつながりの場を増やし、住民主体のまちづくりを目指します。

デジタル……機械で情報を扱う際の表現方法の一つ。

声掛けから始まり、 つながりの場をつくる

- 1 デジタルも活用して幅広い世代に情報を発信しよう
- 2 身近な活動と参加したい人をつなごう
- 3 気軽に集まる場、機会を増やそう

NEW

2 全世代の 力を活かそう

地域を支える支援者の高齢化や次世代の担い手・リーダー不足が深刻な課題として挙げられる中、次世代に引き継ぐしくみとして、地域で

の話し合いの場面において様々な世代の声を入れていく必要があります。全世代が地域づくりに関心を持つ機会をつくり出し、参加する場を提供することで次世代の社会参加を促すことを目指します。

年齢・性別に関係なく 地域の活動へ関わる 機会を増やす

- 1 年齢・性別に関係なく地域の活動へ参加しよう
- 2 すべての世代が福祉に触れる機会を増やそう
- 3 次世代につながるバトンを渡そう

3

活動人口を 増やそう

黒部市人口ビジョンでは、今後の人口は減少し、一方で高齢者の増加が見込まれます。そのような中で、地域活動を発展または維持していくため

には、一人ひとりが様々な「出番と役割」を持つ必要があります。「地域のために何かをしたい」と考えている潜在的な活動者へアプローチしながら活動人口（地域活動に参加する人）を増加させていくことを目指します。

地域で活動する人を増やし 地域の担い手を育てる

- 1 「住民が主役」の意識を育てよう
- 2 おせっかいでも声をかけよう
- 3 地域の活動へ参加しやすい環境をつくろう

NEW

4 パートナー シップで課題を 解決しよう

複雑多様化する地域課題を解決していくためには、それぞれの強みや利害を明確に連携協働していくことが必要不可欠です。世代や分野を超

えてつながる場づくりや市内16地区間での連携体制の強化を目指します。

パートナーシップ……協力関係。協働。提携。

様々な連携・協働で 地域課題を 解決していく力をつける

- 1 地域のありたい姿をみんなで考えよう
- 2 分野を超えて交流する場をつくろう
- 3 地区同士の助け合い、連携を深めよう

5

すべての 人々に福祉を

住民同士のつながりの希薄化や支援を必要とする人が自ら相談に行けず地域の中で孤立するケースなどが地域課題として挙げられる中、

誰もが安心して地域で生活していくことができる地域共生社会を実現するためには、「お互いさまの支え合い」の心を育てていく必要があります。声なき声を拾い、「誰ひとり取り残さない」の精神のもと支えていく社会の実現を目指します。

誰もが安心して暮らせる 孤独・孤立の無い 地域をつくる

- 1 困っている人が助けを求めやすい地域をつくろう
- 2 身近に相談できる人を増やそう
- 3 制度の狭間にある社会課題を解決しよう